

事務事業チェックシート

事務事業No 661 事業名 子ども会育成事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	3	生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策	3	人権を尊重する社会を築くための教育の推進
取組方針	1	人権・同和教育の充実

事業種別	継続	
事業期間	S 4 2 年 ~	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	青少年課	小井 淳司(435-1235)
関連課	子育て支援課	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		人権教育費	
	大事業		人権教育事業	
事項		子ども会育成事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	他人を思いやる心や人権を大切にすることを育み、目標に向かって主体的に行動していく力、いわゆる「生きる力」の育成を図るため実施されている子ども会活動を支援し、青少年の健全育成を図ることを目的とする。	原則として1小学校区内に居住する20人以上の児童・生徒を会員として組織され、年間50日以上次の活動を行う各地域子ども会に交付金を交付する。 ○創作活動・スポーツレクリエーション活動・人権教育・情報活動など自主性及び創造性を育む学習活動。 ○野外・ボランティア・職場体験学の活動。 ○地域住民や子ども相互の交流活動。 ○リーダー養成のための活動。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		学習活動、体験活動、交流活動、指導者養成活動	学習活動、体験活動、交流活動、指導者養成活動	学習活動、体験活動、交流活動、指導者養成活動	学習活動、体験活動、交流活動、指導者養成活動	学習活動、体験活動、交流活動、指導者養成活動

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	38,878	37,157	38,628	37,127	39,048	37,198	39,004		39,004	
伸び率 (%)	-	-	▲0.6%	▲0.1%	1.1%	0.2%	▲0.1%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	94,561	141,990	141,990	142,648	142,648	152,100	152,100	152,100	
	正規職員以外	18,867	16,054	16,054	14,972	14,972	16,827	16,827	16,827	
	小計	110,108	158,044	158,044	157,620	157,620	168,927	168,927	168,927	
国庫支出金										
県支出金	17,551	16,893	17,551	17,041	17,551	17,000	17,551		17,551	
市債										
その他										
一般財源 (税等)	21,327	20,264	21,077	20,086	21,497	20,198	21,453		21,453	
所要人数 (人)	正規職員	12.75	18.69	18.69	19.18	19.18	19.14	19.14	19.14	
	正規職員以外	7.61	7.62	7.62	7.62	7.62	7.65	7.65	7.65	
主な予算内訳	地域子ども会活動支援交付金35,000千円等									

3 目標及び実績

指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	交付金交付団体数	目標値	13	13	13	13	13
		実績値	13	13	13		
		達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	子ども会が開催する行事回数	目標値	13	13	13	13	13
		実績値	13	13	13		
		達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		
	回	目標値					
		実績値					
		達成度 (%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	子ども会は、地域の子どもたちの学力や進路の問題など、教育的課題に取り組むとともに、他人を思いやる心や人権を大切にする心を育み、目標に向かって主体的に行動していく力を育むことを目的として、地域が一体となって子どもたちの健全育成に取り組む有意義な活動であると考えており、事業内容を十分精査しながら支援を継続していきたい。
見直し・改善内容	